

実践編

災害安全③

避難訓練計画と実践事例(小学校)

避難訓練の年間指導計画

1 年間を通して児童に身に付けさせたい力

- (1) 想定される災害や非常事態に際し、危険な状況や避難行動を理解する。
- (2) 非常事態に際し、慌てずに指示に従い、落ち着いて避難する。
- (3) コミュニティ・スクール委員と協働し、地域全体で災害安全を実践する。

2 年間計画

月	想定	ねらい	内容	指導上の留意点
4	火災	火災発生の際に、安全、迅速に避難するための情報を確認し、初期行動の仕方を身に付ける。	保健室裏の機械室からの出火における避難経路を確認する。 (1年生は廊下までの避難)	「おかしも」の約束や避難経路を確認する。
5	火災	火災発生の際に、安全、迅速に避難するための情報を確認し、初期行動の仕方や避難方法を身に付ける。	特別支援教室からの出火における避難経路を確認する。 ※防火扉・シャッターが閉まった状態で避難	防火扉や防火シャッターの役割について確認する。
6	不審者対応	不審者侵入の際に必要な情報や基本行動を確認するとともに、安全・迅速な避難行動の仕方を身に付ける。	不審者が校舎内に侵入した際の避難行動を確認する。 ※警察が不審者役	不審者侵入時の放送やバリケードについて確認を徹底する。
7	火災	火災発生の際に、安全、迅速に避難するための情報を確認し、初期行動の仕方を身に付ける。	保健室からの出火における避難経路を確認する。 ※ふっさっ子の広場も参加	放課後の避難行動について確認する。
8	地震	「大きな災害」が起こるといふ想定の下に、引き渡し訓練の意義について理解する。	大規模な災害を想定した保護者による「引き渡し訓練」(コミュニティ・スクール委員との協働)	下校の際に保護者と危険な箇所がないか確認するよう指導する。
9	不審者対応	不審者侵入の際に必要な情報を確認し、初期行動の仕方や避難方法を身に付ける。	不審者が校舎内に侵入した際の避難行動を確認する。 ※職員が不審者役	
10	地震火災	地震発生の際に、地域住民と協働し、安全、迅速に避難するための避難行動の仕方を身に付ける。	地震発生に伴う事務室からの出火における避難経路を確認する。 ※二次避難場所(南公園)に避難	コミュニティ・スクール委員長の講話から学ぶ機会を設ける。
11	地震火災	地震発生の際に、安全、迅速に避難するための初期行動の仕方を身に付ける。	地震発生による理科室からの出火における避難経路を確認する。(医薬用外毒物劇物危害防止規定に基づいた防災訓練) ※5年生の起震車体験	消防署の方の講話の機会を設ける。
12	火災	火災発生の際に、安全、迅速に避難するための初期行動の仕方を身に付ける。	保健室裏の機械室からの出火における避難経路を確認する。	休み時間に担任が不在の状況で自ら判断し避難できるようにする。
1	大雨後地震水害	高台の第二避難場所熊川地域体育館へ避難することなど避難の仕方について理解する。	大雨後の地震により多摩川が増水と決壊、学校裏の崖が崩壊 ※第二避難場所(熊川地域体育館)に避難(コミュニティ・スクール委員との協働)	コミュニティ・スクール委員長の講話から学ぶ機会を設ける。
2	火災	火災発生の際に、安全、迅速に避難するため、初期行動の仕方や避難方法を身に付けさせる。	事務室からの出火における避難経路を確認する。 ※担任が不在の状況	担任が不在でも、いつもどおりの行動ができているかを確認する。
3	地震	予告なく起きる地震発生の際に、安全、迅速に避難するための避難行動について確認する。	地震発生(余震の発生、出火の危険) ※予告なし避難訓練	実施後の振り返りをしっかりと行い、災害発生時の心構えをもたせる。

地震発生に伴う出火を想定した二次避難場所への避難訓練

小学校 全学年

- ねらい 地震発生の際に、地域住民と協働し、安全、迅速に二次避難場所まで避難するための避難行動を理解し、行動することができる。
- 訓練の流れ

【想定】

- 緊急地震速報が発令
- 地震発生に伴う出火

	活動	児童の動き	◎支援・留意点 ■評価
事前指導		○二次避難について、避難の意味と場所、避難の仕方を知る。	◎避難訓練を予告する。 ◎基本行動を確認する。
避難訓練	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急地震速報の発令 ○避難開始 ○全校児童の安全確認 ○二次避難指示 ○二次避難場所の安全確認 ○校長とコミュニティ・スクール委員長の訓話 ○帰校 	<ul style="list-style-type: none"> ○放送に従い、避難行動をとる。 ○避難経路で校庭に避難する。 ○待機して、確認を待つ。 ○二次避難場所に移動する。 ○待機して、確認を待つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎静かに放送の指示を聞かせ、机の下に潜らせる。 ◎「おかしも」の約束を守って移動させる。 ◎残留している児童がいないか校舎内を確認する。 ◎コミュニティ・スクール委員、警察署と連携し、児童を誘導する。 ■二次避難場所まで避難するための避難行動を理解し、行動しているか。 ◎コミュニティ・スクール委員長の講話が、児童の取組に対する励ましや地域の防災に関する内容になるように事前に確認しておく。
事後指導	○避難訓練の振り返り	<p>【各学級】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○二次避難場所までの訓練について振り返る。 	◎訓話の内容を想起させ、具体的に振り返らせるとともに日常での行動に生かすことができるように指導する。

